

05. 2. 26



プロフィール 文部省社会教育官、九州女子大学教授を経て、1998年、聖徳大学人文学部児童学科教授に。NPO法人全国生涯学習まちづくり協会・理事長、全国まちづくり研究会・代表など、生涯学習まちづくりの仕掛け人として活躍

地域の人たちが自然に集い 街の財産となるセンターに

聖徳大学 生涯学習研究所 所長

福留 強さん

3月9日(水)、松戸駅東口の14階のスタイリッシュなビルに聖徳大学生涯学習研究所「生涯学習社会貢献センター」が誕生します。1・2階は地域の人たちが使えるスペース、3階は保育所、最上階には眺めの良いおしゃれなカフェが。「晴れた日には東京新都市や富士山も望め、見晴らしは最高。夜はライトアップされるなど特色のあるビルです。」

「これからは、大学の社会貢献がキーワード。これは生涯学習の観点に立ち、子ども・高齢社会の活性化に関する総合的な研究の一端として、あらゆる可能性を探る拠点に。また、地域の皆がたどり着ける生涯学習社会実現のために役立つものにしていきたい。」

同大学では、地域の人たちが参加できるオープンアカデミー(SOA)を幅広いジャンルで開講しています。ここでは、それを一歩進めて「街づくり」から応援しようという全国でも初めてのセンター。大きな可能性を秘めています。

「聖徳大学のノウハウを活用していただくことで、ご自身の能力を発揮していただくことです。時代に合う大胆なぐらいのアイデアを出して実施していただきたい。ここで創年(創造的に生きる中高生)と若者の交流なども考えてほしい。」

聖徳大学が自宅などをさまざまな形態で、創年のための活動(全国生涯学習まちづくり協会)も、全国規模で積極的に展開中。講演を含め、福留さんがまちづくりに関与した市町村は900にも上ると言います。

「同じ思いでつながる仲間が全国に大勢います。その仲間たちと会って話すことが何よりも楽しい。仕事に興味と言われても任方がないですね。」(笑)

「役割は大きく分けて2

(山田美奈)